

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	電子回路Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0119		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		機械電気工学科		対象学年	4		
開設期		前期		週時間数	1		
教科書/教材		堀 桂太郎 「オペアンプの基礎マスター」(電気書院)					
担当教員		鈴木 厚行					
到達目標							
オペアンプの基礎特性を理解し、各種の応用回路を設計する力を身につける。また、発振回路や変調・復調回路についても説明できるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目		オペアンプ・発振回路・変復調回路の基礎特性を理解し、説明することができる。また、オペアンプを用いた各種の応用回路を設計し、利用することができる。		オペアンプ・発振回路・変復調回路の基礎特性を理解し、また、オペアンプを用いた各種の応用回路を設計することができる。		オペアンプ・発振回路・変復調回路の基礎特性を理解できていない。また、オペアンプを用いた各種の応用回路を設計することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 1 JABEE d-1							
教育方法等							
概要		代表的なアナログ集積回路であるオペアンプ（演算増幅器）を中心に学習する。オペアンプの基礎特性（増幅作用等）および演算回路やフィルタ回路等への応用について理解を深める。また、また、発振回路・変復調回路についても理解を深める。					
授業の進め方・方法		教科書およびプリント資料を用いる。重要事項については学習シートを配布し、演習を行う。また適宜レポートを課す。授業の理解を高めるために、予習復習が必須である。この科目は学修単位科目のため、以下のような自学自修を必要とします。 事後学習として配布資料およびノートの該当ページを復習する。毎回 1 時間（計 2 8 時間） レポートの作成（ 3 2 時間） 調査時間（ 1 5 時間） 執筆時間（ 1 5 時間） 執筆修正時間（ 2 時間）					
注意点		【評価法】 2 回の試験結果を 85 %、演習問題とレポートを 15 % で総合評価する。 総合評価式 総合評価点 = (前期中間と前期末の平均点)×0.85 + (演習問題とレポートの平均点)×0.15 【関連科目】 本科：電気回路Ⅰ（3 年）、電子回路Ⅰ（3 年）、電気回路Ⅱ（4 年）、工学実験Ⅱ（4 年）					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オペアンプの概要		オペアンプの基礎特性、使用例、理想的オペアンプ等について理解する。		
		2週	反転増幅器		オペアンプの基礎回路である反転増幅器について理解する。		
		3週	非反転増幅器		オペアンプの基礎回路である非反転増幅器について理解する。		
		4週	加算器・加減算器		アナログ信号の加算、減算を行うオペアンプ回路について理解する。		
		5週	積分器・微分器		アナログ信号の積分・微分を行うオペアンプ回路について理解する。		
		6週	ボルテージフォロフ・定電圧回路・定電流回路		インピーダンス変換器として使用されるボルテージフォロフについて理解する。また、負荷の変動に関わらず定電圧、定電流を供給する定電圧回路、定電流回路について理解する。		
		7週	差動増幅器（1）		二つの入力端子に加えられた信号の差分を増幅する差動増幅器について理解する。		
		8週	中間試験		上記の内容について試験を行う。		
	2ndQ	9週	答案返却 差動増幅器（2）		中間試験の解答と解説を行う。 差動増幅器（つづき）		
		10週	フィルタ（1）		各種のアクティブフィルタについて理解する。		
		11週	フィルタ（2）		フィルタ（つづき）		
		12週	発振回路		発振回路について理解する。		
		13週	変調・復調回路		変調・復調回路について理解する。		
		14週	リミッタ回路		増幅回路の出力電圧をある値以下に抑えるリミッタ回路について理解する。		
		15週	期末試験		上記の内容について試験を行う。		
		16週	答案返却など		前期末試験の解答と解説を行う。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	電子回路	利得、周波数帯域、入力・出力インピーダンス等の増幅回路の基礎事項を説明できる。		4	前10
				演算増幅器の特性を説明できる。		4	前1

				演算増幅器を用いた基本的な回路の動作を説明できる。	4	
				発振回路の特性、動作原理を説明できる。	4	
				変調・復調回路の特性、動作原理を説明できる。	4	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	85	0	0	0	15	100
総合評価	85	0	0	0	15	100